

科目名		放射線衛生学論文指導	
科目責任者		大津山 彰 (放射線衛生学 准教授)	
開講時期:	3～4年次	単位数:	6 単位
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>演習で考えた実験方法の妥当性・信頼性を考慮し実験を計画し実施する。得られた実験結果を参考文献の内容と比較検討、考察し学術的に有用な結論を導き出せる。また査読者の意見を理解し、適切な対応ができる。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 放射線生物学分野全般を把握しいくつかの問題を提起できる。 2) 放射線の生物に対する影響を評価できる解析方法を適切に取捨選択し応用できる。 3) 利用する解析方法の限界や信頼性を把握している。 4) 研究テーマの意義を理論的に表現できる。 5) 学術論文の基本的なフォーマットを理解しそれぞれの項目を適切に記述することができる。 6) 得られた結果を支持するあるいは支持しない類似分野の参考研究論文を収集することができる。 7) 参考文献内容を考慮しながら得られた研究結果を考察し学術的に有用な結論を導き出せる。 8) 査読者の意見を理解し適切な回答や対応ができる。 			
● 評価方法	研究計画・結果をチェック、論文草稿をチェック、リバイスに対する回答をチェックしアクセプトをもって最終評価とする。		
● 参考文献	指導の中で必要に応じ紹介する。		